

チェックリストによる河川事業の再評価項目（その１）

河川名	くわのがわ 桑野川	事業名	広域基幹河川改修事業		事業区間	阿南市桑野町	
再評価の実施理由		再評価実施後５年が経過しており、事業の必要性・効率性を再度評価する。					
未着工或いは事業が長期間要している理由			事業には着手しているが、一連区間を改修する事業計画規模であり、長期の事業期間を必要とする。				
事業内容	事業目的	中小事業によりS31年から北谷川合流点まで改修を実施中である。なお、その上流については河積が出水毎に氾濫被害を受けるので、全体区間を変更し引堤、築堤、掘削を行い治水安全度の向上を図る。					
	事業実施内容	全体計画延長L=9,750m 築堤 338,354m ³ 、掘削 403,400m ³ 、護岸 17,677m、根固 7,724m、特殊堤 771m、水門樋門 6基 排水機場 6m ³ /s、橋梁 18橋、樋門樋管 11基、堰 6基、道路 12m					
	目標流量(将来)	900 m ³ /s	計画流量(本事業)			900m ³ /s	
事業の進捗状況	事業採択年	S31	工事着手年	S31	完成目標年	H29	
	全体事業費 (内用地費)	140.0億円 33.6億円	投資事業費 (内用地費)	131.2 億円 (進捗率 94 %) 32.7 億円 (進捗率 97 %)			
	事業進捗状況	廿枝川合流付近までは1/30規模の整備が完了し、1/50対応の河床掘削を残している。廿枝川合流付近から上流は、今後整備に着手する。					
	一連の整備効果の発現状況		改修済区間では、河道断面が拡大され浸水被害が軽減されている。				
事業を巡る社会情勢等の変化	事業に関する諸状況	現状での課題	現状の川幅は流下能力不足であり、度々浸水被害が発生している。				
		災害発生時の影響（想定氾濫区域内）			（事業着手時） ①浸水戸数： 412戸		
		②浸水面積： 343ha ③重要な公共施設等：道路1.3km ④災害弱者関連施設等：市立桑野保育所、介護老人保健施設上静絹					
		過去の災害実績			（出典：「水害統計」（国土交通省河川局））		
		①被災頻度：S40、S46.8、S46.8、S47、H10.5、H10.9、H10.10、H11 ②最大浸水戸数：床下813戸、床上254戸(昭和40年台風23号、24号) ③最大浸水面積：1659ha(昭和46年台風23、25、26号及び秋雨前線豪雨)					
		災害発生の危険度					
		①改修目標流量に対する現況流下能力の割合： 78% ③現況の治水安全度： 1/15					

チェックリストによる河川事業の再評価項目（その2）

河川名	くわのがわ 桑野川	事業名	広域基幹河川改修事業	事業区間	阿南市桑野町
続きの状況	①地域開発の状況 特になし ②地域の協力体制 地元からの事業促進要望が強く、事業進捗に対して協力的である。 ③関連事業との整合性の変化 下流直轄区間の整備との調整が必要である。 ④地域の事業に対する社会的評価 改修事業が進んでおり、一定の効果が期待されている。				
費用対効果分析	費用： 総費用の算定は、以下に示すとおりである。 ・総事業費 全体事業費のうち執行済事業費は治水デフレーター及び割引率(4%)を考慮し、残事業は将来の割引率(4%)を考慮して現在価値化したうえ積算した。 総事業費 = 74,913 百万円 ・維持管理費 1年間当たりの維持管理費について、施設完成後（50年間）を対象に将来の割引率(4%)を考慮して現在価値化したうえ積算した。 維持管理費 = 2,263 百万円 ・総費用 総事業費＋維持管理費で算出した。 総費用 = 74,913 + 2,263 = 77,169 百万円 効果： 総便益の算定は、以下に示すとおりである。 ・純便益 事業後の便益として、年平均被害軽減期待額（2,742百万円）を、事業完成までの19年間（平成11年～平成29年）にわたり現在価値化して積算した。さらに事業後の便益として、年平均被害軽減期待額（3,396百万円）を、事業完成後50年間（平成30年～平成79年）にわたり現在価値化して積算した。 純便益 = 129,794 百万円 ・残存価値 評価対象期間終了時点における構造物と用地の残存価値を現在価値化して積算した。 残存価値 = 56 百万円 ・総便益 純便益＋残存価値で算出した。 総便益 = 129,794 + 56 = 129,850 百万円 費用対効果分析の結果 費用便益比 B/C = 1.68（全体事業） 費用便益比 B/C = 2.17（残事業） <感度分析結果> 残事業費：B/C = 1.68(+10%の場合)、B/C = 1.68(-10%の場合) 残工期：B/C = 1.69(+10%の場合)、B/C = 1.68(-10%の場合) 資産：B/C = 1.85(+10%の場合)、B/C = 1.51(-10%の場合)				